

「北八ヶ岳山行報告」

2012.7.22～23 単独行

今年初の山行です。こんなに初山行が遅いのは初めてです。理由は雑用が何かと多かった事と膝・腰の調子が悪い事です。どの位歩けるか？痛みが出るか？テスト山行のようなものでした。目的地は天気が良いければ「槍・穂高の展望台」とも言われている奥丸山でしたが、天候が良くないので手頃な北八つにしました。

7/22 (日) 曇り・ガス・小雨 自宅 4:25～諏

訪IC 5:45～6:20 麦草峠公共駐車場(91KM) 6:45～8:05 高見石小屋
8:25～:40 丸山 8:50～9:25 中山展望台 9:40～11:25 東天狗岳
12:00～12:45 根石山荘～13:15 夏沢峠山びこ荘 (泊)

中央高速道の岡谷付近から何と雨降りになる。茅野市街を過ぎた頃雨は上がるが兎に角麦草峠まで行って様子をみようと33位のカーブを曲がって高度をかせいで行く。(第何号カーブと看板が出ている)国道299号(別名メルヘン街道)は山間部は積雪の為に冬季閉鎖となります。大分前に其の区間を歩くスキーで白駒の池へ行き凍結した池の上をスキーで歩き、翌日は雨池～雨池峠～縞枯山荘～五辻と回り299号をメルヘン広場まで滑り降りたのが懐かしい思い出である。泊まった白駒の池畔の青苔荘は夜間マイナス20度以上に下がり、電気毛布を500円で借りたのは良かったのだが、夜中に頭が寒くて、腹巻をカブって寝た。(帽子を乾燥室に置いてしまったので)麦草峠は標高2120Mあります。国道では全国2番目の高さです。公共駐車場は整備されて、綺麗なトイレもありました。

麦草峠の公共駐車場。綺麗なトイレあり



すでに10台位駐車していました。曇り空、兎に角登る事にする。明日は天気良さそうだし。展望は明日に期待して。麦草ヒュッテを過ぎて北八つ独特の「苔と針葉樹林」の登山道が続く。昨夜の雨で登山道はグチャグチャ。靴を濡らさないように歩くのは大変だ、

水溜りも多い。倒木などが置いてあるが、嫌な登山道だ。高見石小屋に着く。小屋上の展望台に上がる。眼下に白駒の池、蓼科山も大きく近くに見える。

高見石から白駒の池を見下ろす

とても素晴らしいハイセンスな登山姿のお二人。右は東天狗岳。



この小屋も昔、渋の湯から白駒の池まで日帰り歩くスキーで往復した時に休憩したり懐かしい小屋だ。花のほとんど無い道で中山峠に。歩き始めから気になったカップル（抜いたり。抜かれたりした）の写真を撮らせてもらう。ファッションが抜群のセンスなのです。

ようやく花が見られるようになって東天狗岳山頂に。眼前に西天狗岳。山頂に山名標が無いのが淋しい。記念写真を撮るには必要だ。下山道脇にはイワベンケイ・ミヤマダイコンソウなど種類は少ないが花が散在している。

イワベンケイ



根石山荘が近づくると両側「コマクサ」の大群生が続く。盛期は少し過ぎた感じですが。

12:45に宿泊予定の根石山荘着。外から受付を探すがロープが張ってあって入れない。右側に新築の建物があるが受付らしきものは無い。入り口から入るが受付らしき所は

みあたらない。奥に2人若い男の従業員がいるが、知らん顔。しばらく立っていたが、泊り客らしき中年の人達に聞くと奥だと言う。ところが通路に物が幾つも置いてあるので、またいだりして行く。ここで信じられない事が起きた。

根石山荘付近のコマクサの群生



思い出す度にはらわたが煮えくりかえる対応に遭遇する。「すみません、泊めていただけますか？」と天候などもあり予約をしなかったの丁重にお願いします。「予約はしてありますか？」「天候の判断もありしてありません」と言う「旅館やホテル

も予約が無いと泊めないよ」と説教を始めた。何様だと思っているんだ！ふざけるな！売り言葉に買い言葉「頼まない！」と小屋を出る。中年の人達や外にいた人も

気配に驚いたようだ。まだ 12:45。しかも一人だ。空いている時期だ。(後で聞いたがこの日の黒百合ヒュッテは泊り客8名のみ)「要予約」でも尾瀬のように「完全予約制」でもない、「予約希望」である。こんな頭にくる対応をされたのは今まで初めてである。コマクサの感激は一気に消滅し「頭にきてしまった。」まだ時間は早いし次の小屋を目指す。八ヶ岳は小屋が沢山あるので時間も早いし苦にならない。最悪ツェルトも覚悟している。夏沢峠に到着。此处を境に北八つ・南八つになるという。「要予約」の「ヒュッテ夏沢」と「山びこ荘」が登山道を挟んで2軒ある。

山びこ荘



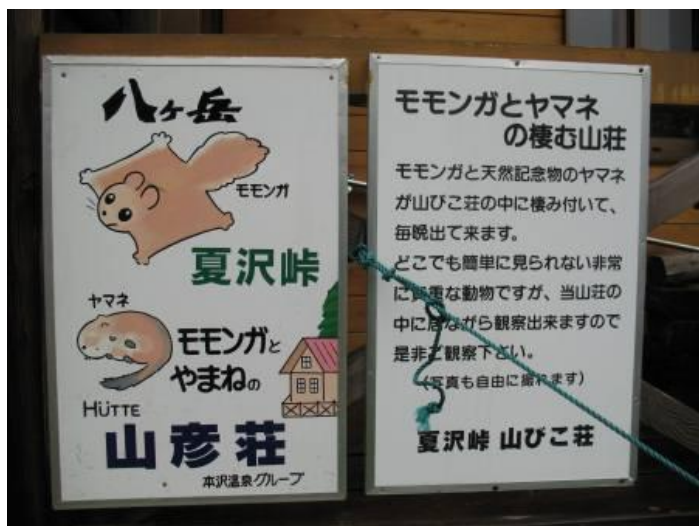
ダメモトで「山びこ荘」に入る。2つ返事で快く泊めてくれる。「予約希望」が泊めなくて「要予約」の小屋が快く泊めてくれる。これをどう理解したら良いのか？この小屋は本沢温泉グループで本沢温泉・赤岳山頂

小屋・キレット小屋を経営している。「オリジナル感謝スタンプカード」をくれた。次回泊まれば500円引きなどと書かれている。企業努力を感じる。前記したように小屋間の距離が短いので、根石山荘のような**殿様小屋**に泊まらないで、登山者は好いた小屋を選べる。この小屋は7350円と安い。トイレが100mほど離れているのが欠点だが。ビールを飲んでいると雨が降ってきて、外で休んでいた6人ほどのグループが小屋に来て小屋番に休ませてくれと頼んでいる。小屋番は快く「どうぞ」と言った。グループは食事をガスで作り、飲み物を沸かして食べて行った。(お礼の意味で何かお土産でも買って行くかと観察していたが、何も買わずに出て行った)ふと思い出したくない事だが、先ほどの根石山荘ならどんな対応をしたかな？

と思った。客商売とはこんな気の長い好対応の上に成果が出るのではと思う。この宿泊定員は40人と少ないが泊り客は12人位いた。小屋番は私と同じ位の人1人だった。根石小屋は小屋番2人で私を泊めなかったがはたして何人泊まったのか？少ない方が楽で断ったと勘ぐったりした。夕食はカレー。辛くて苦手な小生は一瞬嫌だな=と思ったが全然辛くない。

やまね・モモンガの棲む山彦荘

やまね出現



夕食後はこの小屋の名物のやまねとモモンガ見物。テレビや本で見ていたが関心がある。この小屋は未だにランプの小屋である。風情がある。小屋番の説明を聞きながら観察する。やって来た！ところが私のカメラのストロボが発光しない。「なんでこんな時に？」慌てるがダメ。愛知県から来た中学生の男の子などにカメラを見て夏沢峠の看板もらうが原因不明



電池切れとの意見もあり予備電池に替えるがダメ。考えた末にSDカードを渡して撮ってもらった。彼からは後日綺麗に撮れた写真が添付されたメールがきた。有難う！。

彼は夏休みに、八ヶ岳の大自然に接して、高山植物など貴重な体験をしたと思います。夜中に目を覚ましてから、また昼間の件（根石山荘）を思い出して頭にきて寝つかなかった。最悪！

7/23 (月) 6:00~6:35 本沢温泉露天風呂見物 6:40~6:45 本沢温泉 7:05~8:25 白砂新道分岐 8:35~8:55 東天狗岳 9:00~10:00 黒百合ヒュッテ (昼食) 10:30~10:55 ニュウ分岐~ (ニュウ経由) 13:00 白駒池 13:20.~13:55 駐車場 14:00~ビーナスライン経由 17:00 自宅 (総走行距離 200KM)

私は八ヶ岳の県の「長野県山案内人」試験（現在の長野県信州登山案内人試験。今年から試験内容が変わって難しくなった。今までの資格者は当面ひき続き資格があるが、私は体力的な事もあり更新しないことにした）の受験・合格の関係で一時盛んに八ヶ岳に通った。そして八ヶ岳連峰全一般登山道踏破を宣言した。所が夏沢峠~本沢温泉間が抜けていることがわかった。（今年の冬に計画したが天候で中止）

硫黄岳と本沢露天風呂



そんな訳で今回一度本沢温泉に下り、歩いた事のある「白砂新道」を稜線に登り返すという馬鹿げた計画になった。この区間は歩きやすい道だった。日本最高峰の野天風呂「雲上の湯」標高 2150Mを見物。男性が一人入っていた。

標高 2150M日本最高温泉、雲上の湯全景



本沢温泉



温度はぬるめと言っていた。懐かしい本沢温泉に立ち寄り、白砂新道を登り返す。

本沢温泉から白砂新道を稜線に登り返しました。右東天狗岳・左西天狗岳



誰にも会わず稜線へ。稜線手前のお花畑は鹿の食べないコバイケイソウだけが目立つ。鹿の足跡も沢山ある。鹿対策をもっと深化・早急にやらないと高山植物は危機的になると思うのだが。稜線に出たら、昨日山びこ荘で一緒だった中学生の親子に出会う。麦草峠まで旦那さんが迎えに来るとの事。麦草峠は携帯が圏外ですよと念

の為に言う。東天狗岳からの展望は遠くは見えない。同じ道を歩くのは嫌いな性分で黒百合ヒュッテ経由の道を下る。大石のゴロゴロした歩き難い道が続く。花も少ない。

ヨツバシオガマ



シャクナゲと東天狗岳



懐かしい黒百合ヒュッテに到着。早昼を食べる。小屋の横には鹿除けのネットが張られている。登山道脇に黒百合の姿はなかった。遠回りになるが「にゅう」経由で白駒の池を目指す。歩きやすい道である。途中、上田六中など中学生の学校登山が2校・地元の小海小学校の5年生の集団登山とすれ違う。事故が起きると兎角学校の責任が問われるので減少しているが、学校登山は続けて欲しいと思う。白駒の池が近づくともまた泥んこ道になる。いっそ木道にした方が良いと思う。白駒の池に到着。湖畔で休憩。この池は昔結氷が早くスピードスケートのオリンピック選手の練習場になった。地元の高見沢初枝（長久保）選手などが活躍したが昔話になってしまった。湖畔の宿も新築されてしまい、昔は食堂に当時のスケート合宿の写真などが飾られていたのだが。それにしても平日とはいえ、梅雨明け宣言が出されたし、長野県など以外の学校は21日から夏休みに入った.というのに観光客・登山者が少

ないと感じた。

心配した膝・腰の痛みはでなかった。膝をかばうためか、ふくろはぎと腿の筋肉痛のみ。まだアルプスには登れそうだ。

(注) 根石岳山荘のHPに「謝罪文」が掲載されました。でも26日に4人の従業員と電話で話しましたが、女子の夏沢鉦泉グループの予約係?以外「謝罪文などこ吹く風」(説教・反論はするし、夏沢鉦泉の男の従業員は馬鹿にしたような笑い声までする。根石山荘の女は気が強いねと言ったら、気が強くないと山小屋は務まらない!と言う。あゝ言えば「上祐」の社風が充満しているようだ。

なお山地図・八ヶ岳観光協会発行のパンフなどでは「根石山荘」になっていますので文中は「根石山荘」で表記しました。後味の悪い文章になってしまいました。すみません。

根石山荘謝罪文

根石岳山荘:登山者の方への謝罪文

根石岳山荘スタッフの お客様に対する 不適切な対応(言葉づかい)などにより、大変な不快感とご迷惑をお掛けいたしましたことに関しまして このホームページ上にて 深くお詫びを申し上げます。
7月22日(日)12時45分ころ、宿泊希望の方(ご予約が無かった方)が根石岳山荘に立ち寄られた際に、「宿泊は可能ですが、予約をお願いします」の説明の仕方が、不適切かつ 誤りでした。
本人に、厳しく注意し 以後このような対応がないように指導いたしました。
勤務一ヶ月の新人であったために 根石岳山荘の宿泊に関する「予約希望」の対応が、よく理解できておりませんでした。
また、ストーブ用の薪を 受付周辺にまとめて搬入した直後で、受付までの誘導表示が 不明確でした。
整理整頓ができておらず、誠に申し訳ありません。
これらの原因は、すべて会社側の教育・指導不足によるものです。
これから、お越しになれる お客様に適切な対応が「きちんと」できるように、グループ3山荘において指導を行い、徹底させます。
このたびの不幸は、なにとぞご容赦いただきますよう お願い申し上げます。

(有)硫黄岳山荘 代表取締役社長 浦野岳孝
(根石岳山荘 事務所)

- ◆根石岳山荘は、予約に関しましては「予約希望」の対応でございます。
ご予約無しでも、ご宿泊可能でございます。
ちなみに、ご予約で、ご宿泊先が「根石岳山荘」の場合は、メールかお電話にて 事前にご連絡を頂戴できれば ありがとうございます。
天候の急変、体調の具合により キャンセルされる場合は キャンセル料は頂戴しておりません。
ご連絡を1本、いただければ 問題ございません。(硫黄岳山荘も同様でございます。)

◆ご参考

硫黄岳山荘「予約希望」
根石岳山荘「予約希望」
夏沢鉦泉「予約必要」